

平成 29 年 10 月吉日

第 41 回新日美展一般応募での出品者の皆様

新日本美術協会
代表 森屋 治三

拝啓 時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

第 41 回新日美展へご出品いただきありがとうございます。お陰様でこれまでになく多くの作品を展示することができ、大勢の来場者にご覧いただくことができました。

当会は自由、公平をモットーとしており、来場者、出展者が一体となった対話のできる新日美展を目指しております。

今回その一環として、絵画部門では部外委嘱審査員（美術評論家、元美大教授）によるギャラリートーク、部内の審査員、委員による画評会の場を設けました。また工芸部門では工芸審査員による革工芸作品制作実演会また絵画部門の審査員による講演と実演を来場者のご参加を得ておこないました。いずれでも大勢の方の参加と見学者で賑わいました。

つきましては、これからの新日美展の企画・運営の指標として、また、より良い展覧会とするため、今展に関するアンケートをお願いいたしたく、またご意見、ご希望などいただければ幸甚に存じます。

何かと、ご多用中のところよろしくお願ひ申し上げます。
皆様の今後のご活躍を祈念申し上げます。

敬具